

校長室だより

(川内中学校／R6.7.12)

～ 学びあい・支えあい・笑顔で・未来に向かって挑戦！～

【Study Support Smile 3S チャレンジ！】

H20「Homete (ほめて) ・ Hagemashi (励まし) ・ Otagaini (お互いに)」

【学校教育目標：一人ひとりを大切に 未来に向かって生き抜く力を身につけた生徒の育成】

～「学びあい・支えあい・笑顔で・未来に向かって挑戦！」／人権作文発表会・人権講演会での学びあい～

各学年で、人権作文発表会がありました。みんなの前で思いを発表することは、とても勇気がいることだと思います。どの発表も、とても力強い思いがあふれていて、とても素晴らしかったです。また、聞いている生徒も、暑い中、一人ひとりの思いに耳を傾け、熱心にメモを取りながら学ぶ姿は、真剣そのものでした。共に学びあい、学びを深めている川中生の姿が頼もしく感じました。



【人権作文発表会で堂々と発表する生徒】

【人権作文発表/各学年・発表者の演題】

【1学年】

「できること・できないこと」
「イジメをなくすために」
「車いすの人への違和感」
「障害の捉え方」
「彼は今も幸せそうに笑っている」

【2学年】

「障害者に対する気持ち」
「なかなか癒えない心の傷」
「多様性について」
「見た目」
「性別に対する考え」

【3学年】

「男女平等への実現」
「みんなが生きやすい世界にするために」
「誰かと自分」
「優しさとは」

様々な人権課題について深く考える機会となりました。

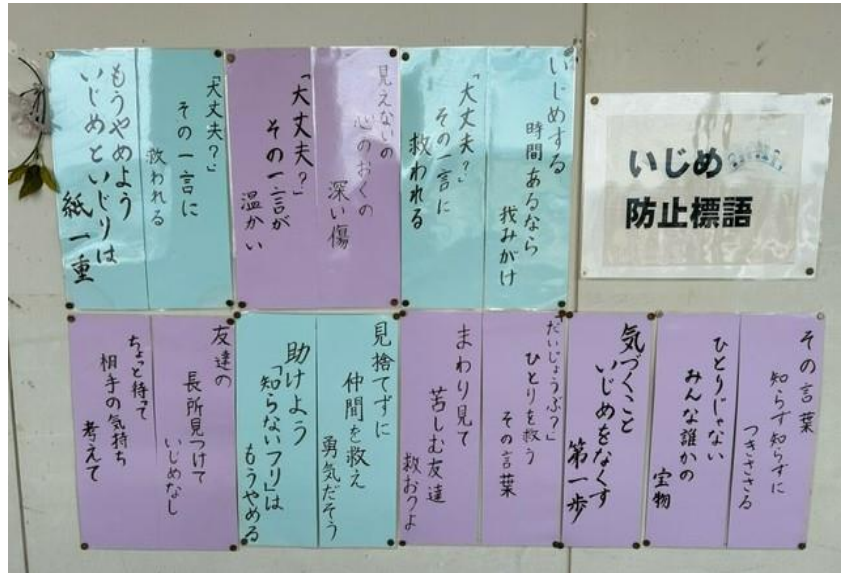
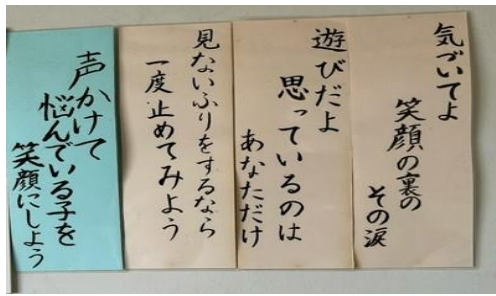


【友達の発表を聞き、感想や自分の意見をメモする生徒】



【学年全体で意見交換する生徒】

人権作文発表会は「自分の言葉で伝える」とても大事な機会だと思います。自分の思いを伝え・友達の思いを聞き・お互いの意見を伝え合う中で、気づきや葛藤がめばえたり、意識の変容や今後の行動目標へとつながったり……生徒の素直な思いが飛びかい、自分の生き方を考える活動となりました。



【いじめ防止標語／川内中・校内掲示物より】

【人権作文発表会・いじめ防止標語(校内掲示物)から思うこと・・・】

私の好きな言葉・・・それは「大丈夫？」という声かけです。

徳島弁で言うと「いけるん？ いけるで？」というかな？

「大丈夫？」「大丈夫だよ」小さな一言ですが、それが大きな救い、安心感に繋がります。

「大丈夫？」という言葉は不思議な力があります。

それは、人に対して「大丈夫？ いけるで？」と尋ねてあげることによって、声をかけられた方からは、救いの言葉・寄り添ってくれているという安心感に繋がります。

そしてもう一方で、自分に対して「大丈夫 大丈夫」と自分自身を安心させる、心を落ち着かせるそんな励みの言葉にもなります。

「大丈夫？」と言う言葉は「自分に対しても、そして他者に対しても、励まし励まされる強い言葉」となります。相手がミスをした時に「大丈夫・大丈夫 挽回」とお互いに励まし合い、また、自分がミスをした時に「大丈夫・大丈夫・次は成功する」と自分を落ち着かせる・・・そう思って・・・私は多くの先生方や子どもたちに「大丈夫」を伝えてきたように思います。皆さんも、励まされ元気になる言葉を多く使える人になってほしいと思います。

人権とは「一人一人が大切にされ 幸せに生きる権利のこと」です。

人権作文発表会をもとに、様々な角度から人権について深く考え、自分の生活の中で生かせるようにしてほしいと思います。

また、校内の掲示物(いじめ防止標語)に目をとめて・・・学校生活の中で気づきを大切に、お互いの様子を気配りでき、声かけできる仲間づくりをしてほしいと思います。

～ 学びあい・支えあい・みんなの笑顔があふれる学校になるように ～

【人権講演会／2学年】 講師 / 圓井美紀子さん・圓井陽子さん

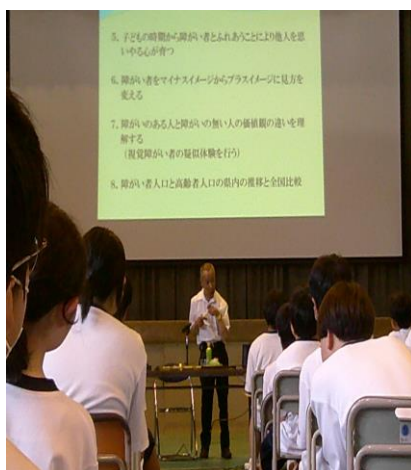
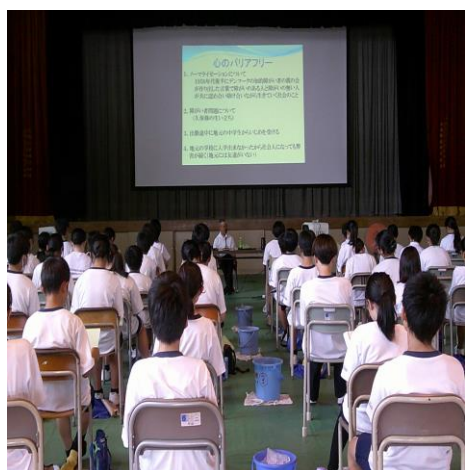
【共に生きるとはどういうことだろう～互いを知ること、そして、互いができること～】



脳性マヒの我が子との関わりを通し「何事も決して諦めない」「障がい児というネガティブな視点でなく、この子のために何が出来るか」を考えながら、地域の仲間とともに歩いてこられた力強い思いと幅広い活動を紹介してくださいました。

素晴らしい講演に力をもらった生徒たちは「共に生きるとは・互いを知ること・互いができること」を心に刻み、講師先生をお見送りしました。

【人権講演会／1学年】 講師 / 久保 修さん



出生直後に脳性マヒとなり、両手足や言葉に障がいを抱えられて生活する中で、ご自身の経験をもとに「いじめのない社会」「人との関わりの大切さ」「命の大切さ」を熱く語って頂き、さだまささんの「道化師のソネット」を歌ってくださいました。



「自分や友達のいいところを見つける」「周りの人を大切にする」「親から授かった命を大切にする」「心のバリアは、一人ひとりの気持ちや行動で変えられる」「障がい者にも進んで声をかけてほしい」等、たくさんのメッセージを私たちに伝えてくださいました。久保さんのやさしさあふれる温かい微笑みとユーモアたっぷりのお言葉に、多くの生徒が心を動かされる時間となりました。

【真剣に耳を傾け、感じたことをメモする生徒】

